

「With コロナ時代における未来アイデア
応募用紙

○応募者
氏名・法人

・団体名	京セラ株式会社
(法人・団体の場合)	
メールアドレス	
電話番号	

募集対象・応募資格適合への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 同意します
暴力団関係者(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)に規定する暴力団をいう。)	<input checked="" type="checkbox"/> 該当しません

○応募内容

アイデア名	Wi-Fi 及びセンサーを利用した独居高齢者見守りソリューション
-------	----------------------------------

提案の概要(200字以内)
屋内の Wi-Fi 電波状況解析による人の活動・睡眠検知及び温湿度センシングを組み合わせることで、監視カメラのようにプライバシーを侵害することなく、遠隔で高齢者の方を見守ることが可能な新たなソリューションを提案する。

提案のきっかけ ※様式自由
従来から緊急通報ボタンや監視カメラ等、遠方にお住まいのご家族を見守るサービスは提供されているが、いざというときにボタンが押せない不安や常時カメラで監視されるというプライバシー等の問題は未だ残っている。また、新型コロナウイルス感染拡大により、高齢者宅や施設に家族であっても自由に出入りできない状況となっており、これまで以上に遠隔での見守りや緊急時のコミュニケーション手段の重要性は増している。そのような環境の中、当社の IoT センシングのノウハウが活かさせられないかと考え、今回の提案に至った。従来の緊急通報ボタンに置き換えるのではなく、組み合わせることでより高度な高齢者の見守りが可能になると考える。

提案の狙い(実施することで解決される社会的課題または創出される価値) ※様式自由
2020年には超高齢社会となった日本では、さらに 2025年には20%以上が75歳となる超超高齢社会になると見込まれており、その頃には家族だけで見守るには限界で、自治体を中心となり地域全体で高齢者を見守らなければならない時代になると予測される。本提案はその時代を見据え、高齢者見守りを単なる家族向けサービスではなく、社会インフラとしてシステム化するためのソリューションの1つと考えている。

実現可能性や実現に必要な要素等 ※様式自由
センシング技術については既に確立されているため、実際に高齢者のご自宅やサービス付高齢者住宅、高齢者向け市営住宅等での実証実験を通じて社会実装に向けた課題を抽出したい。

提案の詳細 ※様式自由

Wi-Fi 及びセンサーを利用した独居高齢者見守りソリューションの構成要素は以下の通りです。

- Wi-Fi の電波状況解析による活動・睡眠検知技術はオリジンワイヤレス社提供
<https://www.japan.originwirelessai.com/>
- 温湿度センシング及び Wi-Fi 電波を送受信可能な IoT デバイスは京セラ提供
<https://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/office/iot/>

宅内のインターネット環境を利用し、オリジンワイヤレス社の Wi-Fi 電波状況解析技術を搭載した Wi-Fi ルーターと当社 IoT センシングデバイスを連携させ、大々的な設置工事を行うことなく、見守りの環境を作ることが可能です。

設置後は、部屋の中での活動状況や睡眠状況といった人のセンシングと、温湿度の環境センシングを同時に行い、人に異常が見られたとき、もしくは熱中症が懸念されるくらい温度が上昇したとき等、非常時に自動通報できるクラウドシステムを構築したいと考えております。

※ 各記入欄は適宜拡幅して構いません。

※ 様式自由となっている項目は、別ファイル(ワード又は PDF 形式)で提出していただいても構いません。

※ その他、任意の参考資料も提出いただけます。

※ 応募いただいた時点で、上記内容(氏名、メールアドレス及び電話番号を除く応募用紙に記載されたすべての内容)の取扱いを県に一任するものとし、県が上記内容を第三者へ情報提供することに同意したものとします。